



2022年3月4日

各 位

株式会社ラクーンホールディングス
 代表取締役社長 小方 功
 (コード番号: 3031 東証第一部)
 問い合わせ先:
 取締役副社長 今野 智
 電話: 03-5652-1711

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日、会社法第370条及び当社定款第25条に定める取締役会の決議に代わる書面決議によって、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年12月2日に公表いたしました2022年4月期(2021年5月1日～2022年4月30日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年5月1日～2022年4月30日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,300	1,580 ～ 1,680	1,430 ～ 1,530	1,430 ～ 1,530	690 ～ 760	31.07 ～ 34.22
今回修正予想(B)	4,759	1,230	1,090	1,080	440	19.81
増減額(B-A)	△541	△350 ～ △450	△340 ～ △440	△350 ～ △450	△250 ～ △320	△11.26 ～ △14.41
増減率(%)	△10.2	△22.2 ～ △26.8	△23.8 ～ △28.8	△24.5 ～ △29.4	△36.2 ～ △42.1	△36.2 ～ △42.1
(参考)前期連結実績 (2021年4月期)	4,364	1,339	1,196	1,216	800	36.78

2. 修正の理由

2022年4月期第3四半期連結会計期間は、国内経済がRe-Openingとなったことを受け、当社の事業はEC事業、フィナンシャル事業ともに売上成長いたしました。特に、国内経済の正常化期待局面において、EC事業の国内の購入客数、客単価がともに増加したことで、国内のBtoB-ECのデジタルシフトが新たな商習慣として根付きつつあることを確信することができました。

一方で、年明けからオミクロン株の爆発的な感染拡大による第 6 波の影響により、消費マインドの停滞懸念が再び高まったことで売上成長の勢いが弱った結果、売上高の伸びは想定より低い着地となっております。オミクロン株の収束の見通しは依然として不透明であり、また、原油価格の高騰、コンテナ不足、さらにはウクライナ情勢等により、国際物流の混乱の影響が今後ますます深刻化する可能性があります。こうした不安定な要因を踏まえ当社の短期的な業績に関し改めて検証したところ、当初の予想よりも下回る見通しとなりましたので、上記のとおり業績予想を修正いたします。

短期的には、オミクロン株の感染拡大や国際物流の混乱によるネガティブな側面が出ておりますが、前述の通り、BtoB・EC のデジタルシフトは進んでおり、当社の事業環境の改善も進んでおります。さらには、フィナンシャル事業も含めた当社サービスの需要の増加は継続していることから、コロナ収束後の中長期的な成長可能性は高まっていると認識しております。

なお、配当予想は、前回予想から修正はありません。

※上記予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。

以 上